

PK / PDってなに??

現在抗菌剤の使用ではPK/PD理論を元に使用量、投与間隔が決定されている。

では、実際にPKPDとはどんなものでしょう？

PK/PDとはPharmacokinetics (薬物動態学)とPharmacodynamics(薬力学)を指標として、血中濃度と効果の関係から薬物の作用を最大限に効果が発揮できるように、副作用を軽減するような用法用量を選択するものである。

PK/PDのパラメータには以下の3種類がある。

・%T > MIC (time above MIC)

24時間の中でMICをこえている時間の割合が抗菌作用にと相関する

1回投与量より投与回数を増やすことがポイント

・Cmax/MIC

最高血中濃度とMICの比率が抗菌薬の作用に相関する。

1回投与量を増やすことがポイント

・AUC/MIC

AUCとMICの比率が抗菌薬の作用に相関する

では実際にこのようなパラメーターに関係する薬剤はどのようなものがあるのでしょうか？

次頁の表にまとめてみました。

PK/PDパラメーター	主な薬剤名
AUC/MIC	グリコペプチド系 マクロライド系
AUC/MIC Cmax/MIC	フルオロキノロン系 アミノグリコシド系
Time above MIC	ーラクタム系

参考資料: 日常診療に役立つ抗菌薬のPK/PD 森田 邦彦

株式会社 ユニオンエース

薬局 2009. Vol. 60 No. 1 南山堂